

名前：

たとえインターネットはどのぐらい技術が進んであつたとしても、やはり雑誌や新聞などの書類の存在価値は必要だと思ひます。その理由は、二つに分けて述べたいと思ひます。まずは、インターネットの現況と雑誌や新聞などのを比べたいと思ひます。確かに、科技の進歩のかけて、クリックだけで量いっは⁰いな情報が手に入れます。今頃インターネットでニュースを聞きたりするのはむしろ現代社会人間の生活の一部だともよく言われていゝます。その上、インターネットをいろんなメディアで組み込むことができますので、ビデオ、ミュージックなどで色こくなれ、面白し^ろくて大満足感が感じられます。一方、雑誌や新聞などの書類では、紙に印刷するもののかざりで、アニメーションなどということはい⁰出来る訳ではありません。ということで、この⁰点から見れば、インターネットが新聞や雑誌に勝ちそうという、そんな気がします。しかし、それが違います。何故なら、イン

ターネットの便利には一体いいのか悪いのかわかりません。それは、インターネットという媒介では誰にも利用できますし、ネット発言・掲示板などでも篩選されがたいですから、濫用されてしまう可能性が十分に高いそうです。それと比べ、雑誌や新聞などは出版される前に必ず出版社に⁰くとも三回に校正され題材の選択でもき⁰ち人と商榷してから出版します。更に、インターネットでは情報の容納量が限界なし、むしろ情報量が多すぎて、手を入りにくいです。それと比べ、新聞や雑誌はほとんどプロに⁰撰字、編修されますから一目ろ然ということ⁰です。ヘッドラインとか忙しい都会人によ⁰て十分便利でしょう。最後に、新聞や雑誌も一つの書類ですから、閲読の風習の養成にもいいでしょう。それはインターネットが⁰比べるものではない⁰です。雑誌や新聞より確かにインターネットが便利ですが、やはりもう雑誌や新聞はい⁰うないという言⁰いは再三思量すべきだと思ひます。

1800字